

2019年4月26日

各位

インフラファンド発行者名
タカラレーベン・インフラ投資法人
代表者名 執行役員 菊池 正英
(コード番号 9281)

管理会社名
タカラアセットマネジメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 高橋 衛
問合せ先 代表取締役副社長 兼 菊池 正英
インフラファンド本部
投資運用部長
(TEL: 03-6262-6402)

出力制御に係る今後の情報開示に関するお知らせ

1. 出力制御に伴う運用状況に及ぼす影響

本投資法人が所有する全ての太陽光発電所（以下「保有発電所」といいます。）は発電事業者である株式会社タカラレーベン（以下「タカラレーベン」といいます。）に賃貸し、タカラレーベンから最低保証賃料と実績連動賃料を収受する賃貸スキームを採用しています。また、保有発電所において、タカラレーベンが出力制御により稼働を停止したことによって本来得られる売電収入が電力会社から収受できない場合であっても、本投資法人がタカラレーベンから収受する最低保証賃料は賃貸借契約期間（注1）内において固定されているため減少はいたしません。

なお、過去出力制御の実施対象となったLS霧島国分発電所では、業績予想においては当該発電所の実績連動賃料は見込んでおりません。LS霧島国分発電所以外の保有発電所では、実績連動賃料の一部を業績予想に含めている太陽光発電所もありますが、業績予想における実績連動賃料の割合は低く、出力制御によって全ての保有発電所で実績連動賃料が全く発生しなかった場合でも、上場規程に基づく「運用状況の予想の修正」の適時開示基準に該当いたしません。

（注1）賃貸借契約期間は資産取得後20年間になります。

（注2）「LS」とは、本投資法人が保有する太陽光発電所のシリーズ名である「レーベンソーラー」の略称です。

2. 出力制御に係る今後の情報開示について

本投資法人は、保有発電所において出力制御が実施された場合、その翌営業日に出力制御の実施内容及び運用状況に及ぼす影響を開示してまいりましたが、前項記載の通り、出力制御によって全ての保有発電所で実績連動賃料が全く発生しなかった場合でも、「運用状況の予想の修正」の適時開示基準に該当いたしません。

出力制御に伴う運用状況への影響が限定的であることを踏まえ、今後保有資産が出力制御の実施対象となった場合は、本投資法人のホームページに新たに開設された「出力制御の実施について」にてご報告させていただきます。当該開設ページでは過去の出力制御の実施内容を取り纏めており、今後保有発電所において出力制御が実施された場合は、当該開設ページを更新してご報告させていただきます。

※本投資法人のホームページアドレス：<http://tif9281.co.jp/>